

【インフルエンザ・新型コロナウイルス感染症対策】中学校部会
「新型コロナウイルス感染症の対策に伴うバドミントン活動ガイドライン」より抜粋

◆大会当日の行動における注意事項

- ・ 感染症対策が遵守できないと運営側が判断した場合、大会途中でも中止を宣言する。
- ・ 原則として選手及び関係者すべての健康・安全の確保を最優先とする。

●体育館での行動

- ・ 体育館に入場するすべての方は、当日の朝、検温を行うこと。万一、発熱、倦怠感、咳、咽頭痛などの自覚症状がある方は、入場を控えること。(入場時に運営側にて入口で検温できる。)
- ・ 入場時に、「健康確認シート」を提出すること。(県協会 HP よりダウンロード)
提出が無い場合は入場及び大会参加を認めない。当日の棄権扱いとし参加料の返却も行わない。
- ・ 館内ではマスクを着用とすること。(試合中以外)
- ・ 交換用のマスク(3枚以上)を準備して、使用済みのものは各自で処分すること。
- ・ 体育館入場の際、入口で消毒を行い、観覧席に速やかに移動すること。
- ・ 靴棚の使用は禁止する。外履きは各自持参した袋に入れ自己管理を行うこと。

●大会当日について

- ・ 開閉会式は館内放送を通じて観覧席にて行い、表彰式は簡略の上、表彰者のみ本部席前で表彰する。
- ・ 会場内の換気を常に行うため、一部のドア・窓を開放する予定。
- ・ コールの後に指示されたコートに入ること。
- ・ コートサイドには、トーナメントバッグ等の持ち込みを許可し、飲み物やタオルなどはバッグに収容する。
- ・ 試合前・試合後に各コートに置いてある消毒液で、主審と選手は手を消毒する。
- ・ 試合中を除き、マスクを着用とする。試合中のマスク着用も可とする。
- ・ 試合中の掛け声、ダブルスでのハイタッチなどを極力抑えること。
- ・ シャトル交換は、主審台に準備してある籠に投げ入れ、新しいシャトルをその選手が取る。
- ・ 各コートのモップ掛けは、試合後に勝った選手が行う。負けた選手は、勝者サインがされた審判用紙を速やかに本部に持っていく。
- ・ 試合前・試合後の握手は行わず、挨拶のみとする。
- ・ 応援は観覧席で行い、応援のために移動しない。
- ・ 応援は声援ではなく、拍手をする。
- ・ 昼食の時間は特にもうけない。食事中の会話は控える。
- ・ 自身の試合・役割(審判等)が終了したら、観戦や応援をせず、速やかに帰宅をすることを推奨する。
- ・ ごみは各自持ち帰り、自宅にて処分する。

大会中止も視野に入れ十分検討した上で、上記の処置により大会開催を決定しました。大会参加については、各家庭及び各中学校での判断による参加とします。大会中または大会後に発症を確認した場合は、代表者が大会運営者(090-5492-6331 下川ヘショートメール)に必ず報告してください。